



- 手と手をつなごう -

TETTE 通信 9月号

2026
9月号



<http://www.bon-jono.com>



BONJONO



Instagram で最新情報を発信しています！

住民コミュニティ部会



お申込みお問い合わせ

(一社) 城野ひとまちネット

093-941-1170

北九州市小倉北区東城野町5-1

開館時間: 10時～18時

Mail: tette.bonjono@tiara.ocn.ne.jp

8月2日

14:00～16:00

【報告】6月TETTE会 (延期開催)

参加者
52名

正会員 準会員 一般

第2回防災フェスタ in ボン・ジョーノ

6月TETTE会では、6/20(土)から延期となっていた「第2回防災フェスタ in ボン・ジョーノ」を8/2(日)に開催しました！イベントの初めには、令和8年熊本地震で被災された方々へ哀悼の意を表し、黙とうを行いました。

イベントでは、平成28年熊本地震を経験した学生による語り部や、地震体験車による揺れの体験を実施しました！さらに、非常食の食べ比べでは、普段食べているお米とアルファ化米の違いを味わいながら学び、防災リュック中身選びのブースでは、「本当に必要なものは何だろう？」と考えながら、楽しんで取り組む姿が見られました★避難所協力チャレンジブースでも、みんなで助け合いながら物資を交換し合うなど、共助の大切さを体感することができました♪参加者の皆さんは、防災を「自分ごと」として考えながら、積極的に参加されていました。災害はいつ起こるか分かりません。今回のイベントが、ご家庭や地域で防災について話し合うきっかけになれば幸いです！

イベント内でお配りした防災カードはTETTEにも設置していますので、ご自由にお持ち帰りいただけます。ぜひ、ご活用ください！！また、受付で実施した「令和8年熊本地震義援金」では、9,488円のご協力をいただきました。温かいご支援、誠にありがとうございました。皆様からお預かりした義援金は、TETTE会より熊本県の義援金受付窓口を通じて寄付させていただきます。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！！



8月7日

18:30～20:00

【報告】住民コミュニティ部会

参加者
38名

正会員 準会員 一般

8月の部会は学生さんが夏休みを利用して軽食の準備をしてくれたのですが、学生の地元メシと言うテーマで、もぶりごはん(広島)、タイピーエン(熊本)、それに加えてわんぱく農園で作られたトマト、ナス、オクラを使ったマリネと豪華なお食事となりました。

今回は、TETTE通信を作成してくれているメディアラボの方や、一緒に敬ポン会を行うカルナス城野駅前の方も参加して頂き大人数での開催となりました。まだまだ暑い日が続くため、企画の内容も夏をイメージしたものが多くありますので参加される方は涼を求めて心地良いひとときをお過ごし下さい。夏祭りでは、多くの会が出店協力しますし、敬ポン会でもいくつかの会がコラボをして運営を行います。また「こう言う企画を考えているけど〇〇するにはどうしたら良いかな」との問いかけに「〇〇の人を知っているので紹介しますよ」と一人では解決できない問題を皆んなで解決していく事が出来るのもコミュニティ部会の強みだと思っています。色んな人が、色んな考えで、色んな活動をしていくのって素敵ですよ。

住民コミュニティ部会はどなたでも参加可能です。住民・事業者・学生が協働してまちづくりを行う。皆さんも一度部会ミーティングに参加してみてください。



8月9日

午前の部 10:30～12:30

午後の部 14:00～16:00

【報告】たべTETTE

参加者
32名

正会員 準会員 一般

今回は管理栄養士の佐藤先生をお招きし、午前と午後の2部構成で、夏の料理教室を楽しみました。

午前の部は、大人限定の「夏のかんたんデリ風ワンプレートランチ」作り。参加者みんなで料理を作りました。初めは少し緊張した様子も見られましたが、同じ料理と一緒に作り、完成した料理を囲んで食べる頃には、自然と会話も弾み、和やかな雰囲気に。食事を一緒に作り、食べることで、人と人との距離を縮めるきっかけとなりました。午後の部は、「米粉のクレープ」作り。テーブルごとに分かれてクレープを作りました。今回特に印象的だったのは、子どもたち同士の自然な助け合いです。小学生のお兄さんお姉さんが小さな子どもの作業を手伝ったり、声をかけたりする姿が見られました。子どもたち自身が自然にサポートし合っていたことが、とても素敵な場面でした。夏休み期間ということもあり、親子でも参加できるクレープづくりは申し込みも多く、定員いっぱいでの参加となりました。

たべTETTEはこれからも、子どもから大人まで、誰でも気軽に参加でき、「ここに来ると誰かとつながれる」と感じてもらえるような居場所づくりを続けていきます。

